



# 通話内容や伝言メモを録音する

親機では伝言を録音したり、通話中の大切な用件をメモ代わりに録音することができます。すべての録音を合わせて、最大約12分間、30件まで録音できます。

## 通話を録音する

スピーカーホン通話中は受話器を取ってから録音をおこなってください。

- 1 通話中に
 

再生  
○  
録音

を押す
- 2 録音をやめるときは
 

停止  
Ⓢ

を押す

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。  
(日時スタンプ機能)

## 伝言メモを録音する

- 1 受話器を取る
- 2 再生  
○  
録音  
を押す
- 3 受話器で伝言を話す
- 4 話し終わったら、
 

停止  
Ⓢ

を押して  
受話器を置く

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。  
(日時スタンプ機能)

■録音内容を再生するときは  
再生ボタンを押すと録音内容を再生します。(90ページ)

■録音内容を消去するときは  
92ページを参照してください。

応用編  
便利な使いかた  
システムアップ

通話内容や伝言メモを録音する

### お知らせ

- 子機では通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。
- スピーカーホンで通話録音や伝言メモ録音することはできません。
- 内線通話中は、通話録音できません。

# モーニングコールを使う

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。  
(約5分間隔で7回くり返し)

## モーニングコールを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能/ファクス を押す	ヨウケンサイセイ
2 シャトルキーで「アラームセッテイ」を選ぶ	アラームセッテイ
3 機能/ファクス を押す	ON OFF
4 シャトルキーで「ON」を選ぶ	ON OFF
5 機能/ファクス を押す	●通話ボタンが点滅します。
6 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する (24時間制で4ケタ入力します。)	07:00 ●すでに設定している時刻を変更するときは、(X) / (#) を押して、変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。
7 機能/ファクス を押す	07:00

### 途中でやめるときは

ボタンを押します。

### モーニングコールの音を途中で止めるときは

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。(充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。) このあと約5分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

### モーニングコールを解除するときは

- 手順4で「OFF」を選ぶ
- 機能ボタンを押す

### お知らせ

- 親機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定をおこなっても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。親機の時刻を合わせてから、モーニングコールを設定してください。
- アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

便利な使いかた システムアップ

モーニングコールを使う

### 設定した時刻になるとアラーム音が鳴り始めます。

ピッ・ピッ・ピッ... (約1分間)

5分後

ピッ・ピッ・ピッ... (約1分間)

合計7回くり返します。(7回くり返すと、モーニングコールを自動的に解除します。)

(例) 午前7:00にモーニングコールを設定したとき、右の図のようになります。

1回目	2回目	3回目	6回目	7回目
AM 7:00	7:05	7:10	7:25	7:30

この間約1分間 アラーム音が鳴ります。 モーニングコール解除



# 自分で呼出音を作る (オリジナルメロディー)

自分で作ったメロディーを親機の呼出音として使うことができます。  
(着メロ作曲機能)

## ■ オリジナル (自作) メロディーを消去するときは

- ① 登録ボタンを押す
- ② <sup>GHI</sup> 4<sub>ア</sub> 1<sub>ア</sub> 1<sub>ア</sub> と押す
- ③ <sup>ABC</sup> 2<sub>ア</sub> を押す
- ④ スタートボタンを押す
- ⑤ 停止ボタンを押す

## ■ 呼出音をオリジナル (自作) メロディーに設定するときは

- ① 登録ボタンを押す
- ② <sup>GHI</sup> 4<sub>ア</sub> 1<sub>ア</sub> 0<sub>ア</sub> と押す
- ③ <sup>PQRS</sup> 7<sub>ア</sub> を押す
- ④ 停止ボタンを押す

## ■途中でやめるときは

停止ボタンを押します。

## ■1つ前に戻るときは

取消ボタンを押します。

### オリジナル (自作) メロディーを作る

**1** <sup>登録/取消</sup> を押す

**2** <sup>GHI</sup> 4<sub>ア</sub> 1<sub>ア</sub> 1<sub>ア</sub> と押す

**3** 1<sub>ア</sub> を押す

**4** **ダイヤルボタンでテンポを入力する (40~190を入力)**

**5** <sup>スタート</sup> を押す

**6** **メロディーを作る**  
1<sub>ア</sub> ~ 7<sub>マ</sub> で音符を入力する  
(休符を入れるときは <sup>記号</sup> 0<sub>ア</sub> を押す)  
↓  
トーン \* # で音の長さを選ぶ

**7** メロディーの入力が終わったら <sup>スタート</sup> を押す

**8** <sup>停止</sup> を押す

オリジナルメロディー

1: トウロク 2: クリア

テンポ: 120

●はじめは120になっています。  
(数値が大きい方がテンポが速くなります。)

●ジョグダイヤルでテンポを選ぶこともできます。

テンポ: 100

01: \_\_\_\_\_

●97ページのメロディー入力割り当て表を参照して、メロディーを入力してください。

01: Hド # 4

●同じ音を続けて入力するときにはジョグダイヤルでカーソルを移動させてから次の音符を入力します。

●付点や3連符を入力するときには <sup>WAVE</sup> 9<sub>ア</sub> を押します。

●最大60音まで入力できます。  
(休符も1音と数えます。)

便利な  
使いかた  
応用編  
システム  
アップ

自分で呼出音を作る (オリジナルメロディー)

### お知らせ

- オリジナル (自作) メロディーを呼出音に設定しているときにオリジナル (自作) メロディーを消去すると呼出音は電話ベル音になります。  
(ただし、モデムダイヤルイン機能を利用している場合は、ファクス受信の呼出音は「電子音」になります。)

# 自分で呼出音を作る (オリジナルメロディー)

## ■メロディー入力割り当て表

### <音符について>

○ 全音符	16分音符	4分休符
2分音符	付点	8分休符
4分音符	全休符	16分休符
8分音符	2分休符	3連符

### <音階の入力について>

#### オクターブ下げた音 (L)

ド ド# レ レ# ミ ファ ファ# ソ ソ# ラ ラ# シ

押すボタン (1<sub>フ</sub>) (1<sub>フ</sub>) (2<sub>カ</sub>) (2<sub>カ</sub>) (3<sub>サ</sub>) (4<sub>タ</sub>) (4<sub>タ</sub>) (5<sub>ナ</sub>) (5<sub>ナ</sub>) (6<sub>ハ</sub>) (6<sub>ハ</sub>) (7<sub>マ</sub>)

押す回数 5 6 5 6 3 5 6 5 6 5 6 3

#### 基準音 (M)

ド ド# レ レ# ミ ファ ファ# ソ ソ# ラ ラ# シ

押すボタン (1<sub>フ</sub>) (1<sub>フ</sub>) (2<sub>カ</sub>) (2<sub>カ</sub>) (3<sub>サ</sub>) (4<sub>タ</sub>) (4<sub>タ</sub>) (5<sub>ナ</sub>) (5<sub>ナ</sub>) (6<sub>ハ</sub>) (6<sub>ハ</sub>) (7<sub>マ</sub>)

押す回数 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1

#### オクターブ上げた音 (H)

ド ド# レ レ# ミ ファ ファ# ソ ソ# ラ ラ# シ

押すボタン (1<sub>フ</sub>) (1<sub>フ</sub>) (2<sub>カ</sub>) (2<sub>カ</sub>) (3<sub>サ</sub>) (4<sub>タ</sub>) (4<sub>タ</sub>) (5<sub>ナ</sub>) (5<sub>ナ</sub>) (6<sub>ハ</sub>) (6<sub>ハ</sub>) (7<sub>マ</sub>)

押す回数 3 4 3 4 2 3 4 3 4 3 4 2

### <音符の入力>

L=オクターブ下げた音、M=基準音、H=オクターブ上げた音

押すボタン	入力できる音符 (ボタンを押す回数)					
	(1回)	(2回)	(3回)	(4回)	(5回)	(6回)
1 <sub>フ</sub>	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#	↑				
2 <sub>カ</sub>	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#	↑				
3 <sub>サ</sub>	Mミ → Hミ → Lミ	↑				
4 <sub>タ</sub>	Mファ → Mファ# → Hファ → Hファ# → Lファ → Lファ#	↑				
5 <sub>ナ</sub>	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#	↑				
6 <sub>ハ</sub>	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#	↑				
7 <sub>マ</sub>	Mシ → Hシ → Lシ	↑				
0 <sub>フ</sub>	休符					

### <音符・休符の音長入力>

押すボタン	入力できる音符・休符の長さ (ボタンを押す回数)				
	(基準は4分音符・休符)	(1回)	(2回)	(3回)	(4回)
← * →	4分	→ 8分	→ 16分	→ 1分(全)	→ 2分
← # →	4分	→ 2分	→ 1分(全)	→ 16分	→ 8分
WXYZ 9 <sub>フ</sub>	付点	→ 3連符	→ なし		

### <音符の見方> (例)

- 01:Mファ 4 ... 音長が4分音符のファを表します。
- 01:Mファ# 2 ... 音長が2分音符の半音上がったファを表します。
- 01:Hファ 4. ... 音長が付点4分音符のオクターブ上のファを表します。
- 01:Lファ# 1 ... 音長が全音符でオクターブ下の半音上がったファを表します。
- 01:Mファ 8\_3 ... 音長が8分音符の3連符のファを表します。
- 01:---- 4 ... 4分休符を表します。

便利な  
使いかた  
システム  
アップ

自分で呼出音を作る (オリジナルメロディー)

### <音符・休符の削除>

押すボタン	音符・休符の消去
登録/取消	カーソルの表示している音符・休符を消去します。



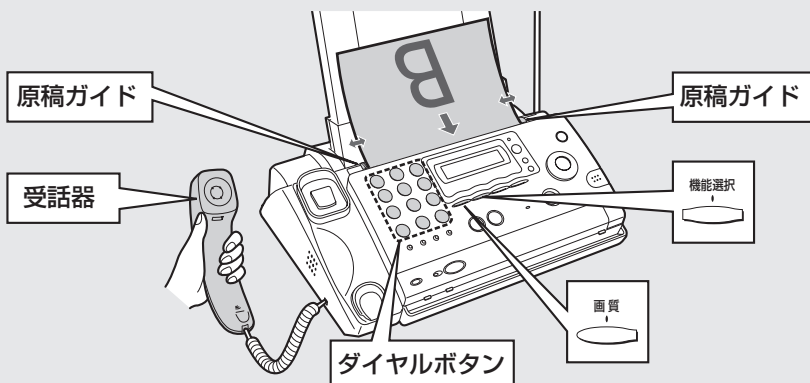
# ファクスを送ったあとお話しする (FAX⇄電話リレートーク)

ファクスを送り終わったあと、自動的に電話に切り替わりますので、送ったファクスを見ながらお話しができます。






■ リレートークモードを解除するときは通信中にコピーボタンを押します。(送信はできますが、送信後相手の方とお話しできなくなったり、自動的に再ダイヤルしなくなります。)

## ファクスを送ったあとお話しする



- 1** 通話中に原稿ガイドを合わせて  
**原稿を表向きにセットする**

  - 送信する面を上にしてセットします。(一度に5枚まで)
- 2**  を押して画質を選ぶ
- 3** 相手の方にスタートボタンを押したあと受話器を戻さないように伝えて  
 を押す
- 4**  を押す
- 5** 受話器から「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。受話器を戻してください。」と聞こえたら  
**受話器を戻す**

  - 相手の方が UX-F2MRなどのリレートーク機能を持ったファクシミリをお使いのときは、メッセージが流れたあと、スタートボタンのかわりにリレートークボタンを押してもらるか、リレートークモードに切り替えてもらいます。
  - 相手の方が先にスタートボタンを押したときでも、通話中にリレートークモードに切り替えておきます。
  - リレートークモードに切り替わります。
  - 相手の方には「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。スタートボタンを押してください。」と聞こえます。

次ページへ→

便利な使いかた システムアップ

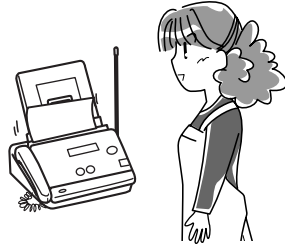
ファクスを送ったあとお話しする (FAX⇄電話リレートーク)

### お知らせ

● 相手の方のファクシミリによっては、受話器を上げていると通信が終わったあと通話に戻れないことがあります。この場合は、受話器を戻してもらってください。自動的に再ダイヤルします。(ただし、こちらから電話をかけた場合に限ります。)



## ファクスを送ったあとお話しする (FAX ↔ 電話リレートーク)



→つづき

**6** 相手の方がスタートボタンを押すと  
**ファクスを送り始める**

ファクス受信が終わったら

相手の方が受話器を上げたままのときは



相手の方が受話器を戻しているときは




**7** 終了音のあと  
スピーカーから「相手の方が出られましたら受話器を上げてお話しください」と聞こえる  
(かかってきた電話のときはメッセージが流れずに呼出音が鳴ります。)

- 相手の方には「電話に切り替えます。」と聞こえます。  
(かかってきた電話のときはメッセージが流れずに呼出音が鳴ります。)

**8** 相手の方の声がスピーカーから聞こえてきたら  
**受話器を取ってお話する**

**受話器を置いたままお話するときは**

- スピーカーホン  
●  を押す
- ファクシミリによっては相手側で「ピーピー」音(約35秒)が聞こえる場合があります。そのときは停止ボタンを押してもらってください。

**7** 終了音のあと  
スピーカーから「相手の方が出られましたら受話器を上げてお話しください」と聞こえる

**8** 自動的に再ダイヤルする

- スピーカーから「相手の方に再ダイヤルします。」と聞こえます。
- 相手の方からかかってきた電話のときは、再ダイヤルしません。

**9** 相手の方の声がスピーカーから聞こえてきたら  
**受話器を取ってお話する**

**受話器を置いたままお話するときは**

- スピーカーホン  
●  を押す

### お知らせ

- 自動的に再ダイヤルするのは、こちらから電話をかけたときだけです。
- 子機から電話をかけたときも再ダイヤルしません。
- 通話中にキャッチボタンを押したときも、自動的に再ダイヤルしません。

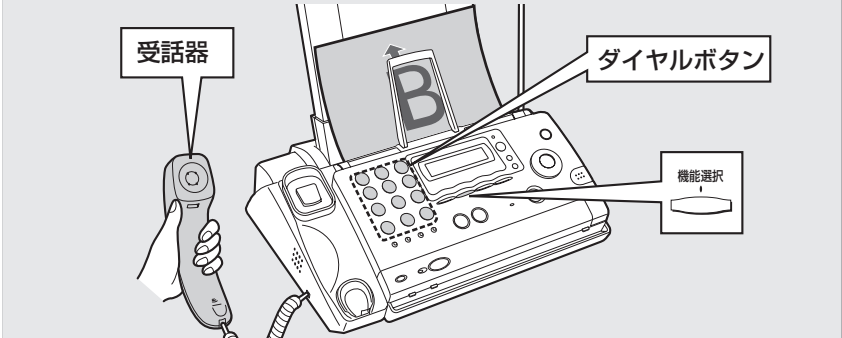
# ファクスを受けたあとお話しする (FAX↔電話リレートーク)

ファクスを受けたあと、自動的に電話に切り替わりますので、受け取ったファクスの内容を見ながら相手の方とお話しができます。



■ リレートークモードを解除するときは通信中にコピーボタンを押します。(受信はできますが受信後相手の方とお話しできません。)

## ファクスを受けたあとお話しする



- 1** 通話中に相手の方にスタートボタンを押したあと受話器を戻さないように伝えて

機能選択 **を押す**

  - 相手の方が UX-F2MRなどのリレートーク機能を持ったファクシミリをお使いのときは、メッセージが流れたあと、スタートボタンのかわりにリレートークボタンを押してもらおうか、リレートークモードに切り替えてもらいます。
- 2** **DEF 3** **を押す**

  - リレートークモードに切り替わります。
- 3** 受話器から「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。受話器を戻してください。」と聞こえたら

**受話器を戻す**

  - 相手の方には「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。スタートボタンを押してください。」と聞こえます。
- 4** 相手の方がスタートボタンを押すと

**ファクスを受け始める**

ファクス受信が終わったら
- 5** 呼出音が鳴ります

(こちらからかけた電話のときは、終了音が鳴ったあとスピーカーから「相手の方が出られましたら受話器を上げてお話しください」と聞こえます。)

  - 相手の方にも呼出音が聞こえます。(こちらからかけた電話のときは、相手の方には「電話に切り替えます。」と聞こえます。)
- 6** 呼出音が鳴ったら

**受話器を上げて話す**

  - ファクシミリによっては相手側で「ピーピー」音(約35秒)が聞こえる場合があります。そのときは相手の方に停止ボタンを押してもらってください。

### お知らせ

- 相手の方のファクシミリによっては、受話器を上げていると通信が終わったあと通話に戻れないことがあります。この場合は、受話器を戻してもらってください。自動的に再ダイヤルします。(ただし、こちらから電話をかけた場合に限りです。)
- 通話中にキャッチボタンを押したときも、自動的に再ダイヤルしません。
- こちらからかけた電話のときで、相手の方がスタートボタンを押したあと、受話器を戻したときは、ファクスを受けたあと自動的に再ダイヤルします。

便利な使いかた システムアップ

ファクスを受けたあとお話しする (FAX↔電話リレートーク)



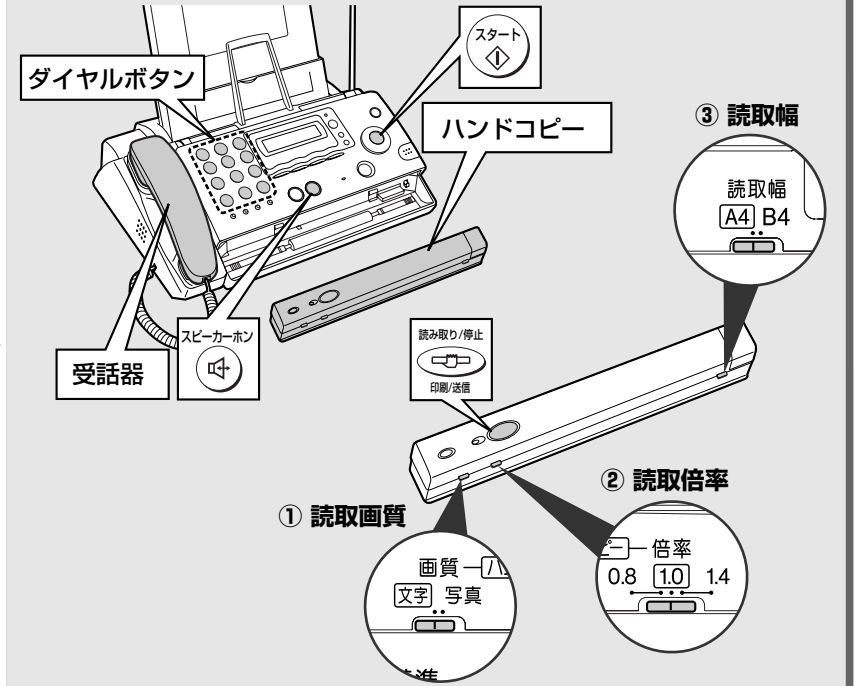


# コードレスハンドコピーを使ってファクスを送る

ハンドコピーで読み取ったデータをファクス送信するときの操作です。相手の方とお話中のときでもハンドコピーで読み取ったあと、そのままファクスで送ることができます。



## ハンドコピーでファクスを送る



### 1 ハンドコピーを本体から取りはずす (67ページ)

ハンドコピーの取りはずしかたや、設定のしかたなど、くわしくは「コードレスハンドコピーをお使いになる前に」をご覧ください。(67~72ページ)

### 2 読み取る前の設定をする (68ページ)

■ すでにハンドコピーに記録されているデータを送るときは  
手順6から操作します。

### 3 ハンドコピーで読み取る (69ページ)

### 4 ハンドコピーを本体に取り付ける (67ページ)

●新しく読み取った枚数を表示します。

アタラシイ データ 1マイ

この表示のあとすぐに停止ボタンを押すと新しく読み取ったデータのプリントはしません。

●通話中は自動的にプリントしません。

●記録紙がセットされていなければプリントできません。

### 5 新しく読み取ったデータを自動的にプリントする

■途中でやめるときは

受話器を戻します。  
スピーカホンでダイヤル中のときはスピーカホンボタンを押します。

■1つ前に戻るときは  
取消ボタンを押します。

### 6 ハンドコピーを本体に取り付けた状態で を押す

- 1: アタラシイ データ
- ↓
- 2: スベテノ データ
- ↓
- 3: ページ シティ
- ↓
- 4: シロクロ ハンテン
- ↓
- 1-4ヲ センタクシテクダサイ

次ページへ→

便利な  
使いた  
システム  
アップ

応用編

コードレスハンドコピーを使ってファクスを送る

→つづき

## 7 ファクスを送るデータを選ぶ

新しく読み取ったデータを送るとき

- 最後にハンドコピーを取りはずして、読み取ったデータ（新しいデータ）を送るときに選びます。

メモリーに残っているすべてのデータを送るとき



ページ番号を指定して送るとき



（この操作をくり返すと複数のデータをファクス送信できます。）

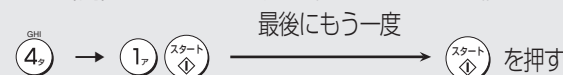
（例）1ページ目と2ページ目をファクス送信するとき



白黒反転で送るとき



（例）1ページを白黒反転でファクス送信するとき



## 8 受話器を取るか、 を押して 「ツー」という音が聞こえたら ダイヤルする

スピーカーホン

- 電話帳を使ってダイヤルすることもできます。（44ページ）
- 通話中のときはこの手順をとばします。

## 9 相手の方にファクスを送ることを伝えて



- 相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったらスタートボタンを押します。
- 「ピー」音が聞こえると自動的にファクス送信に切り替わって「ファクスを送信します。」と聞こえます。スタートボタンを押さなくても自動的に送信できます。（おまかせ送信）

## 10 受話器を戻す

- スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときは自動的に電話が切れます。




# スタンプを押してファクスを送る

原稿に記入しなくても、イラストやメッセージを付けてファクスを送ることができます。

オリジナルスタンプには、自分でメッセージやイラストなどを自由に登録できます。(1種類)



## ■ 原稿の画像がプリントされない範囲

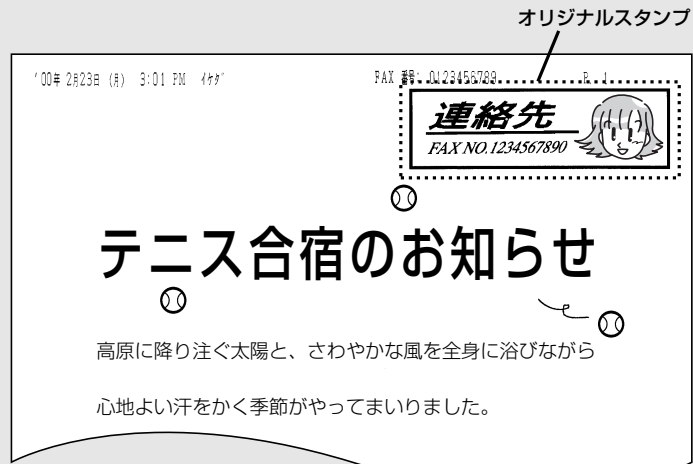
原稿を読みとれる範囲(62ページ)の中で、の部分にはスタンプがプリントされますので、原稿の画像はプリントされません。



## オリジナルスタンプ

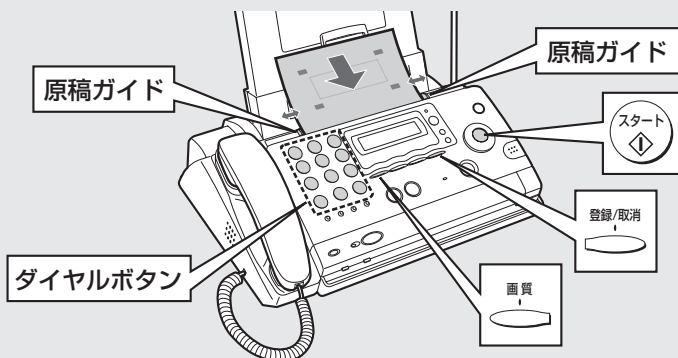
自分でイラストやメッセージなどを登録して、自由にスタンプを作ることができます。  
また、プリントする位置を変えることもできます。

### <プリント例>

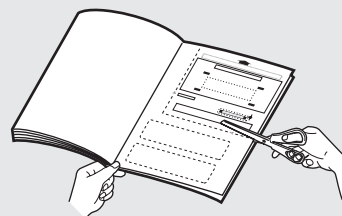


名前や住所、電話番号などを手書きやワープロなどで記入したり、イラストや写真などを入れて自由にスタンプを作ることができます。  
オリジナルスタンプは1種類登録できます。

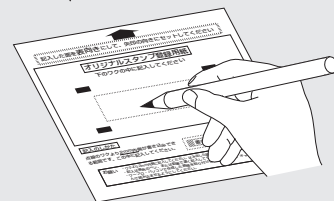
## オリジナルスタンプを作る



**1** 取扱説明書巻末のオリジナルスタンプ登録用紙を切り取り線にそって、まっすぐに切り取る




**2** オリジナルスタンプ登録用紙に記入する



**3** 原稿ガイドを合わせて記入した面を表向きにしてオリジナルスタンプ登録用紙をセットする

**4**  を押して画質を選ぶ

●「小さな字」または「写真」を選びます。これ以外を選んだときは、すべて「小さな字」で登録されます。

**5**  を押す

**6**    と押す

オリジナルスタンプ

**7**  を押す





トウロク

**8**  を押す

●オリジナルスタンプが登録されます。

■オリジナルスタンプを変えるときは一度消してから、あらためて登録し直します。

■登録したオリジナルスタンプを消すときは

- ① 登録ボタンを押す
- ②    と押す
- ③  を押す
- ④ スタートボタンを押す
- ⑤ 停止ボタンを押す

### お知らせ

- 登録用紙に写真やイラストを貼り付けて読み込ませるときは、市販のキャリアシート（62ページ）をご使用ください。このときは、登録用紙をキャリアシートの中央にセットしてください。
- オリジナルスタンプを登録すると、録音できる時間が短くなり、また、メモリーできる受信枚数も少なくなります。録音時間が残り少ないときや、メモリー受信した内容が残っていて、メモリーが残り少なくなっているときは、オリジナルスタンプを登録することはできません。

便利な  
使いかた  
システム  
アップ

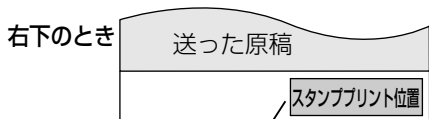
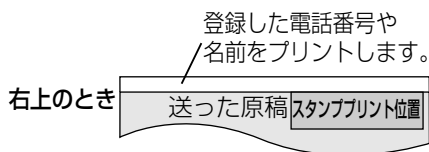
スタンプを押してファクスを送る

オリジナルスタンプのプリント位置を選びます。

■ 途中でやめるときは  
停止ボタンを押します。

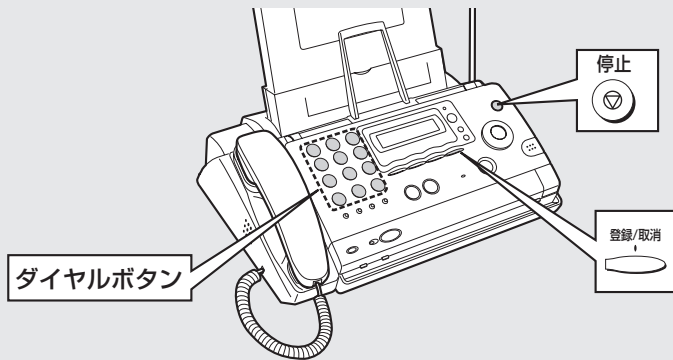
■ 1つ前に戻るときは  
取消ボタンを押します。

■ ファクスを送ったときは  
オリジナルスタンプが、次のような位置にプリントされます。



相手の方で受けた記録紙は、実際に送った原稿よりもスタンプがプリントされる分だけ長くなります。

## オリジナルスタンプのプリント位置を選ぶ



1 登録/取消 を押す

2 4<sup>GHI</sup> 1<sup>A</sup> 7<sup>QRS</sup> と押す

オリジナル スタンプ

3 3<sup>DEF</sup> を押す

オリジナル イチ

4 右上にするときは

1<sup>A</sup> を押す

右下にするときは

2<sup>ABC</sup> を押す

5 停止 を押す

### お知らせ

- オリジナルスタンプを右下に付けて送信する場合、相手の方が普通紙FAXなどカット紙で受信すると2枚の紙に分かれてプリントすることがあります。コピーする場合も2枚の紙に分かれてプリントすることがあります。

相手の方にファクスを送ったときに、1枚目にスタンプをプリントします。オリジナルスタンプを送るときは「オリジナルスタンプを作る」(105ページ)と「オリジナルスタンプのプリント位置を選ぶ」(106ページ)の登録操作をおこなってからファクスを送ってください。

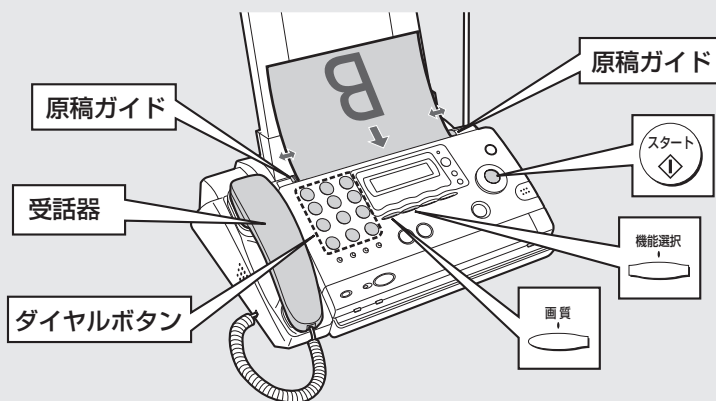


### こんなことができます

手順4のあとにコピーボタンを押すと、スタンプを押してコピーできます。

- 途中でやめるときは 停止ボタンを押します。
- 1つ前に戻るときは 取消ボタンを押します。

## スタンプを押してファクスを送る



1 原稿ガイドを合わせて  
原稿を**表向き**にセットする

●送信する面を上にしてセットします。(一度に5枚まで)

2 を押して画質を選ぶ

3 を押す

4 を押す

スタンプ アリ セットシマシタ

5 受話器を取る

●受話器を置いたままダイヤルするときには、スピーカホンボタンを押します。

6 「ツー」という音が聞こえたら  
ダイヤルする

7 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

を押す

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは電話が繋がったらスタートボタンを押します。

●「ピー」音が聞こえると自動的にファクス送信に切り替わって「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」と聞こえます。スタートボタンを押さなくても送信できます。(おまかせ送信)

8 受話器を戻す

●ファクス送信が終わると鳥の声が聞こえます。(終了音)

### お知らせ

- オリジナルスタンプの画像を「写真」で登録しているときは、ファクスを送るときに「普通字」を選んでも、はじめの1ページ目は自動的に「小さな字」になります。
- 原稿を上下逆にセットしたときや、横向きにセットしたときは、スタンプが原稿に対して逆にプリントされたり、横にプリントされたりします。





# 呼出音を鳴らさずにファクスを受ける（ノンコール着信）

相手の方がファクスを送ってきたとき、自動的にいったん着信したあと、相手の方が自動送信でファクスを送っている（「ポーポー」音が鳴っている）かを確認めて、自動送信のときは呼出音を鳴らさずにファクス受信に切り替わります。

また、相手の方が電話（または、手動送信のとき）をかけているときは、自動的にいったん着信したあと、呼出音を鳴らしてお知らせします。

ノンコール着信はユーザーセレクトで設定します。（120～121ページ）

ノンコール着信設定にするとディスプレイには「ノンコール セッテイ」と表示され、日付／時刻の表示はしません。

ノンコール セッテイ

※ノンコール着信はファクスを受信することが多い方にお勧めな機能です。

※ノンコール着信機能では、いったんすべて着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断します。そのため、他の着信方法と異なって、電話がかかるときに、不在のときでも相手の方に2回呼出音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。

※電話を受けることが多くの方にはお勧めできません。

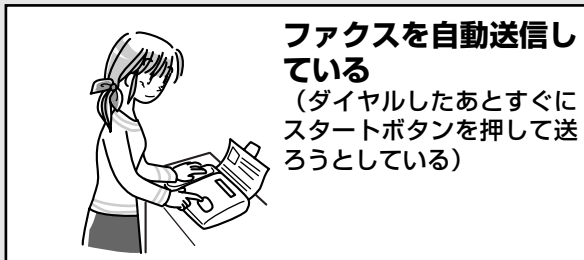
## 【実際にノンコール着信機能をお使いになる前に】

ノンコール着信の設定が完了しましたら、一度、他の電話機（携帯電話など）から、ご自宅に電話をかけて、実際にノンコール着信動作を確認しておきましょう。（電話または手動送信の動き）

ここで、確認した動作が相手側の動きとなります。

## 自動で送られてきたファクスをノンコールモードで受ける

### 相手側



### こちら側



### 自動送信とは

ファクスを送るときに、ダイヤルしたあとすぐにスタートボタンを押してファクス送信します。このとき、相手の方と話すことはできません。

### 手動送信とは

ファクスを送るときに、電話をかけてお話しなどをしてからスタートボタンを押してファクス送信します。

## お知らせ

- 増設電話機をお使いのときは、増設電話の呼出音は鳴りません。また、ファクスの親機・子機の呼出音が鳴っている間に増設電話の受話器を上げても、通話できません。
- 回線の状態や相手機種によっては、相手の方が自動送信のファクスでも呼出音が鳴る場合があります。
- 留守に設定されているときは、ノンコール着信は働きません。
- ノンコール着信が設定されているときは、ファクス受信の終了音も鳴りません。
- ノンコール着信を設定しているときは子機の優先呼出は働きません。

便利な  
使いかた  
システム  
アップ

応用編

呼出音を鳴らさずにファクスを受ける（ノンコール着信）

## 呼出音を鳴らさずにファクスを受ける (ノンコール着信)

### 電話または手動で送られてきたファクスをノンコールモードで受ける

※ノンコールモード時のコール回数を7回 (工場出荷時) のとき

#### 相手側



**電話をかけている**  
(電話をかけたあとファクスを送ろうとしている)

呼出音が2回聞こえます。

このあともう一度通常よりやや高い音で「ブルブル…」と呼出音が鳴る

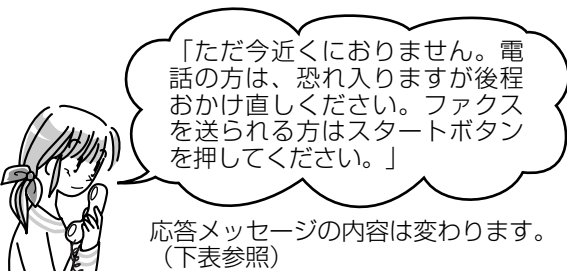
ブルブル (1回目)  
ブルブル (2回目)

この呼出音が流れ始める約2秒前から、相手の方に電話料金がかけられます。

ブルブル (3回目)

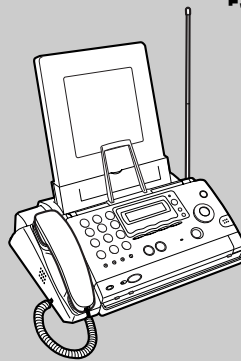
ブルブル (6回目)

数回の呼出音が鳴ったあと固定応答メッセージが聞こえます。



#### こちら側

呼出音は鳴らない



呼出音が鳴る

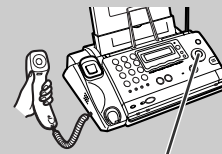
ブルル (1回目)  
ブルル (2回目)  
ブルル (3回目)



ブルル (4回目)  
ブルル (7回目)

相手側で固定応答メッセージが流れている間、こちら側では呼出音が鳴ります。

呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。



このあとファクスを受取る時はFAXスタートボタンを押します。

#### 在宅モード時の留守録が有的时候

録音するメッセージを話す



録音が始まる



スタートボタンを押す

ファクス受信が始まる

#### こんなことができます

- 電話がかかってきたときの呼出音の回数 (ノンコールモード時のコール回数) を4~25回に変更できます。(120~121ページ)  
コール回数を多くすると応答メッセージが流れるまでの呼出回数が多くなります。例えば、10回に設定すると、こちら側で7回目の呼出音が鳴り始めたときには、相手の方には固定応答メッセージが流れ始めています。
- 在宅モード時の留守録設定で、相手の方のメッセージの録音もできます。(126~127ページ)

#### 固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信も、録音もできるとき (在宅モード時の留守録「あり」のとき)	固定応答メッセージの内容 「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話してください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」
ファクス受信はできないが、録音はできるとき (在宅モード時の留守録「あり」のとき)	呼出音が鳴り (10回)、 「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」
ファクス受信も、録音もできないとき	呼出音が鳴り (25回)、 「ただ今近くにおりません。恐れ入りますが後程おかけ直してください。」 (3回流れます。) ※ただし、リモート操作 (112~113ページ) のための暗証番号が登録されていないと応答しません。



# こちら側の操作でファクスを受ける (ポーリング受信)

相手の方のファクシミリにセットされている原稿を、こちら側の操作で取り出したり、FAX情報を取り出したりすることができます。



## ■ FAX情報を取り出すときは

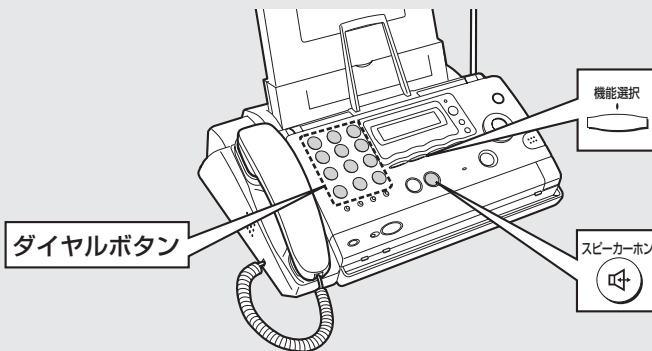
サービスによって操作の異なる場合がありますので、各種サービスの音声ガイダンスや説明書にしたがって操作してください。  
ダイヤル回線ご利用のときは、ブッシュホン回線(トーン)に切り替えて操作してください。(111ページ)

## ■ 途中でやめるときは

ダイヤル中は、スピーカーホンボタンを押します。  
受信中は、停止ボタンを押します。

## ポーリング受信する

受話器を置いたまま、原稿をセットせずに操作します。



1 機能選択 を押す

2 <sup>JKL</sup>5+ を押して、ポーリングモードを設定する

ポ ーリング モード

3 <sup>スピーカーホン</sup> を押す

4 ダイヤルする

5 「ピー」という音が聞こえたら自動的に受信が始まる

●自動的に受信が始まらないときは、スタートボタンを押します。

便利に  
使いた  
システム  
アップ  
応用編

こちら側の操作でファクスを受ける (ポーリング受信)





## お知らせ

- 相手の方のファクシミリによってはご利用になれないことがあります。また、このファクシミリは相手の方の操作では、こちらの原稿を自動的に送ること(ポーリング送信)はできません。
- 情報サービスの提供先や種類によっては、季節や時刻によりサービスを行っていないことがあります。取り出せないときは、各サービス提供先にお問い合わせください。

# プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でもトーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出すことができますので、交通機関の予約や銀行の残高照合などのプッシュホンサービスを利用できます。

**プッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）**

親機	子機
<b>1 受話器を取る（またはスピーカーホンを押す）</b> 	<b>1 通話ボタンを押す</b>  ● 通話ボタンが赤色に点灯します。
<b>2 各種サービスにダイヤルする</b>	<b>2 各種サービスにダイヤルする</b>
<b>3 トーンボタンを押す</b> 	<b>3 トーンボタンを押す</b> 

●このあとアナウンスにしたがって操作します。  
 ●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。  
 ●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

## トーン信号とは

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でも、トーンボタンを押すと、このトーン信号を出すことができます。

## お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けられないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。



# 外出先から用件や伝言を聞く (リモート操作)

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりできます。

リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

(114ページ)

## ■ 暗証番号を押すときは

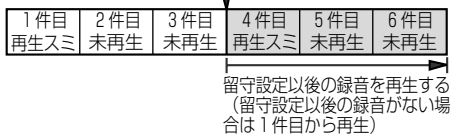
- 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」音が聞こえます。手順3からやり直してください。
- 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。(2回まちがえると電話は切れます。)

## ■ 一般録音の内容を聞くときは

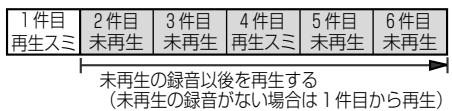
留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

留守設定しているとき

留守設定



留守設定していないとき



## 外出先から一般録音をリモート操作する

プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機を使います。

### 1 自宅に電話をかける



ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。

(トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。)

### 2 応答メッセージが聞こえている間に

**#** を押す

**#**を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度**#**を押してください。

### 3 暗証番号 (4桁) を押す



### 4 **#** を押す

### 5 音声メッセージを聞いたあと リモート操作番号を押す



(例) 録音内容を聞くときは、

**1 #** と押します。

### 6 リモート操作が終わったら 電話を切る



応用編  
便利なシステムアップ

外出先から用件や伝言を聞く (リモート操作)

## 外出先から用件や伝言を聞く (リモート操作)

### ■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 # (早聞き) ← ↓ 1 # (遅聞き) ↓ 1 # (元に戻る) →
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには (未再生の録音も消えます) (応答メッセージは消えません)	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #
転送を設定／解除するには	停止中に 2 #

### トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確認することができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が2回(新しい録音がないときは5回)で留守応答します。(留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーを選びます。126～127ページ)

### ■ トールセーバー機能の使いかた

呼出音が2回鳴ってもつながらないときは、新しく録音されていないことがわかります。3回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

### 📞 お知らせ

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- リモート操作で転送を設定すると、本体が留守設定されていなくても自動的に留守モードに設定されます。
- 操作は1分以内に行ってください。(1分以上あけると電話が切れます。)





# 暗証番号を登録する

外出先からリモート操作するときや、録音内容を聞くときは、暗証番号（4ケタ）の登録が必要です。

## ■途中でやめるときは

停止ボタンを押します。

## ■1つ前に戻るときは

取消ボタンを押します。

## ■登録した暗証番号を消すときは

①登録ボタンを押す

② と押す

③スタートボタンを押す

④停止ボタンを押す

## ■暗証番号を変えるときは

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

## ■番号を押しまちがえたときは

取消ボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えますので、そのあと、入れ直します。

## ■暗証番号を忘れたときは

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

### 暗証番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。

- 1 を押す
- 2 と押す
- 3 を押す
- 4 暗証番号を入れる（4ケタ）
- 5 を押す
- 6 を押す

アンショウ パンゴウ

1: トウロク 2: クリア

イッパ ン= (4ケタ)

便利に  
使いた  
システム  
アップ

暗証番号を登録する

# 留守録が入れば外出先の電話やポケットベルを呼び出す (転送)

留守中に録音が入ったときは、外出先の電話や、携帯電話機、PHS、ポケットベルを呼び出して、着信があったことをお知らせします。このあと、外出先から録音されたメッセージをリモート操作(112~113ページ)で聞くこともできます。(通話することはできません。呼び出し先を登録できるのは、1件だけです。)

暗証番号を忘れないように、リモート操作手順カード(取扱説明書の巻末)を持ってお出かけください。

■ **ポケットベルにつながらないときは**  
3分間隔で3回まで呼び出します。ただし、回線が込み合っている場合は、再呼び出ししない場合もあります。

■ **ポケットベルに転送されたときは**  
外出先から、録音内容を聞くときは、プッシュホンの公衆電話またはトーン信号が発信できる電話機から、リモート操作をします。(112~113ページ)

## 外出する前に

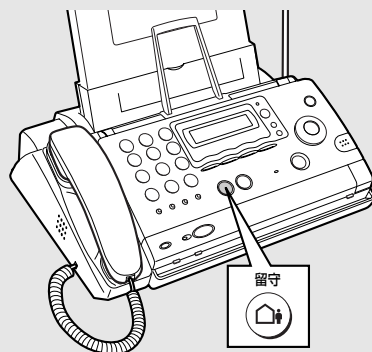
### 外出先の電話へ転送するときの準備

- 1 暗証番号を登録する(114ページ)
- 2 転送先の電話番号を登録する(117ページ)
- 3 転送を設定する(117ページ)
- 4 外出するときは(下の手順参照)

### ポケットベルへ転送するときの準備

- 1 暗証番号を登録する(114ページ)
- 2 転送先の電話番号を登録する(117ページ)
- 3 ポケットベルに送るデータを登録する(118ページ)  
(ポケットベルを呼び出すときは必ず登録してください)
- 4 転送を設定する(117ページ)
- 5 外出するときは(下の手順参照)

## 外出するときは



1 **留守** **を押して点灯させる**

ディスプレイに  
ルステンソウ 0  
と表示されます。

### こんなことができます

- 再転送間隔を15分、または30分、再転送回数を5回または10回にすることもできます。(126~127ページ) 携帯電話やPHSへ転送するときは電源を切っていたり、電波の届きにくい場所にいたりする場合がありますので、このようなときに便利です。  
(ただし、転送先の携帯電話やPHSが留守番電話サービスに加入されているときで、留守番電話サービスセンターが受けたときは、再転送されません。)

### お知らせ

- ポケットベルをお使いになるためには契約が必要です。ポケットベルのサービス会社へお問い合わせください。
- 短い留守録音の場合は転送されないことがあります。また、転送発信中に留守録音が入った場合は、転送されないことがあります。
- この転送機能はかかってきた電話を外出先の電話機などで受けられるようにするものではありません。
- 留守中に録音が入って外出先の電話や携帯電話などを呼び出したときは、呼び出し先までの通話料金がかかります。



## 留守録が入れば外出先の電話やポケットベルを呼び出す（転送）

### 外出先の電話に転送されたときは

#### 1 留守録音されると、転送先の電話機を呼び出す



- 話し中のときや呼出音が15回鳴っても電話に出ないときは、いったん呼び出しを止めて、3分間隔で3回まで呼び出します。

#### 2 電話に出る



- 「録音を転送します。シャープを押してください。」と聞こえます。

#### 3 トーンに切り替えて [#] (シャープ) を押す

- 「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 [#] ボタンを押します。





#### 4 暗証番号に続いて [#] を押す

- 「新しい録音は一般録音1件です。」と知らせます。(例)

#### 5 [1] [#] と押して録音を再生する








- 詳しくはリモート操作をご覧ください。(112~113ページ)





## 留守録が入れば外出先の電話やポケットベルを呼び出す（転送）

- **番号を押しまちがえたときは**  
取消ボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えますので、そのあと、入れ直します。
- **途中でやめるときは**  
停止ボタンを押します。
- **1つ前に戻るときは**  
取消ボタンを押します。
- **登録した転送先の番号を消すときは**
  - ① 登録ボタンを押す
  - ②     と押す
  - ③ スタートボタンを押す
  - ④ 停止ボタンを押す
- **転送先の番号を変えるときは**  
一度消してから、あらためて登録します。
- **ディスプレイポケットベルへ転送するとき**  
ディスプレイポケットベルへ送るデータを入れることができます。  
(118ページ)

### 転送先の電話番号を登録する







受話器を置いたまま操作します。

- 1  を押す
- 2    と押す  
 テンソウサキ バンゴウ  
 1: トウロク 2: クリア
- 3  を押す
- 4 転送先の番号を入れる  
(最大32ケタ)  
NO: = 01234567
- 5  を押す
- 6  を押す

- **途中でやめるときは**  
停止ボタンを押します。
- **1つ前に戻るときは**  
取消ボタンを押します。
- **転送を解除するとき**  
転送を設定していても、留守設定を解除すると自動的に転送は解除されます。また、留守設定時の転送を解除するときは、次の操作をします。
  - ① 登録ボタンを押す
  - ②     と押す
  - ③ 停止ボタンを押す
- **転送先の携帯電話やPHSが留守番電話サービスに加入されているときは**  
転送時に携帯電話やPHSの電源を切っていたり、圏外にいたりしたときは、留守番電話サービスに、「録音を転送します。シャープを押してください。」という用件が録音されます。こんなときは、電話をかけて録音されている用件を聞いてください。

### 転送を設定する

受話器を置いたまま操作します。

- 1  を押す
- 2    と押す  
テンソウ セツテイ  
1: ナシ 2: アリ
- 3  を押す
- 4  を押す

### お知らせ

- 転送先の番号の登録にはポーズやトーン（\*）を入れることもできますが、構内交換機から0発信する場合や、海外の電話番号を登録する以外でポーズを入力すると正しく電話がかからないことがあります。
- 転送先の番号を消すとポケットベルに送るメッセージのデータ（118ページ）も消えます。
- 転送設定を「アリ」にしている状態で転送先の番号を消すと転送設定が「ナシ」に変わります。転送先の番号を登録し、再度、転送設定を「アリ」にしてください。



## 留守録が入れば外出先の電話やポケットベルを呼び出す（転送）

ディスプレイ付ポケットベルに転送するときには、ディスプレイに表示されるメッセージを登録します。ディスプレイのないポケットベルへ転送するときはポーズを登録します。転送先の番号を登録したあと、操作してください。

### ■ 番号を押しまちがえたときは

取消ボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えますので、そのあと、入れ直します。

### ■ 途中でやめるときは

停止ボタンを押します。

### ■ 1つ前に戻るときは

取消ボタンを押します。

### ■ 表示させるメッセージを消すときは

- ① 登録ボタンを押す
- ② と押す
- ③ スタートボタンを押す
- ④ 停止ボタンを押す

### ■ 表示させるメッセージを変えるときは

一度消してから、あらためて登録します。

### ■ NTT DoCoMoのポケットベルへ転送するときは

手順4のメッセージを入れたあと、 と押す必要があります。  
(NTT DoCoMo以外のポケットベルでは、操作が異なることがありますので、転送するポケットベルの取扱説明書をごらんください。)  
記号の登録のしかたなどは、ディスプレイポケットベルの取扱説明書をごらんください。

登録したあと、ご自分のポケットベルに転送して、呼び出すかどうかをご確認ください。

### ■ ポーズについて

1回目にポーズボタンを押すと、約4秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、2回目以降からは約2秒間の待ち時間ができます。

## ☑ ポケットベルに送るメッセージ（データ）を登録する ☑

受話器を置いたまま操作します。

1 を押す

2 と押す

テンソウナイヨウ

1: トウロク 2: クリア

3 を押す

4 メッセージ（データ）を入れる（最大32桁）

●NTT DoCoMoのポケットベルへ転送するときはメッセージを入れた後、最後に と押します。データを入れない場合でも必ず を押してください。

●ディスプレイのないポケットベルへ転送するときはポーズボタンを押します。

●トーンに切り替える必要はありません。

5 を押す

6 を押す

### 📢 お知らせ

- 転送先の番号を登録していないと、ポケットベルに送るメッセージは登録できません。
- 転送先の番号を消すと、既に登録しているポケットベルに送るメッセージも消えます。
- ディスプレイポケットベルへ転送するときは、ポケットベル会社からのメッセージが長いときなど、メッセージが正しく送られないことがあります。こんなときは、手順4の操作でメッセージを入れるまえにポーズ（-）を数回入れてください。

# 初期設定 (工場出荷時) 一覧表

## お買いあげ時の初期設定

分類	項目	説明	初期値	選択項目	参照ページ
日時	日付・時刻の設定	ディスプレイに日時表示、送信時に相手の方の記録紙に日時印字、留守録に日時スタンプ	親機：工場出荷時に設定	登録操作	33
	モーニングコール	設定した時刻になるとアラーム音が鳴る	OFF	ON/OFF	95
音量・音の種類	呼出音量	電話がかかってきたときの呼出音の大きさ	親機：3 子機：大	親機：5段階 子機：標準/大	28~29
	受話音量	通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさ	親機：1 子機：標準	親機：5段階 子機：標準/大	28~29
	スピーカー音量	スピーカーホンや録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさ	親機：3 子機：標準	親機：5段階 子機：標準/大	28~29
	送話音量	通話中に相手の方に聞こえる声の音量	親機：標準 子機：標準	親機：①標準/②大 子機：①標準/②大	120~121
	呼出音種類	着信したときの呼出音の種類	親機：電話ベル音 子機：パターン1	親機：7種類 子機：9種類	30~31
	通信/コピー終了音種類	コピーやFAXの送受信後に鳴る終了音の種類	鳥の声	①鳥の声/②音声/ ③アラーム音/④なし	120~121
	子機キータッチトーン	ボタンを押したときや、シャトルキーを操作したときに「ピッ」音を鳴らす	ON	ON/OFF	124~125
受信	在宅モード時のコール回数	在宅モード時に電話に出られなかった場合にFAX受信に切替わるまでの回数	10回	①回数選択 (01~25回) / ②無制限呼出	120~121
	ノンコール着信	自動送信でファクスが送られてきたときは呼出音を鳴らさずに受信する	なし	①あり/②なし	108~109 120~121
	おまかせ受信 (親機/子機)	相手の方から自動送信でFAX時受話器を取ると自動的にFAX受信に切替える	あり	①あり/②なし	122~123
留守録	留守モード時のコール回数	留守設定時、応答メッセージに切替わるまでのコール回数。トールセーバー (113ページ) に設定することもできる	4回	①トールセーバー/ ②01~25回	126~127
	用件録音時間	用件メッセージが録音できる時間	1分	①20秒/②1分/③3分	126~127
	お声拝聴	留守設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえる	あり	①あり/②なし	126~127
	在宅モード時の留守録	留守設定しなくても電話に出られなかった場合に相手の方のメッセージが録音できる	なし	①あり/②なし	126~127
送信	あなたの名前 (発信元名)	ファクスを送った場合に相手の方の記録紙に印字される	未登録	登録操作	32
	あなたの番号 (発信元番号)	ファクスを送った場合に相手の方の記録紙に印字される	未登録	登録操作	32
	画質優先選択	ファクス送信時に自動的にこの画質が優先される	普通字	①小さな字/②普通字	120~121

別途付加サービス契約が必要な機能					参照ページ
ACR	スーパーACR	相手先の場所、曜日、時間帯に応じて日本テレコムやNTTなどの中から自動的にお得な電話会社に接続する	しない	サービス利用設定 ①する/②しない	134
ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	かかってきた相手の方の番号を表示させる (ナンバーディスプレイ契約時に設定)	しない	サービス利用設定 ①する/②しない	145
	キャッチホン・ディスプレイ	ナンバーディスプレイ利用時、キャッチホン割り込み者の番号を表示させる (キャッチホンディスプレイ契約時に設定)	しない	キャッチホン・ディスプレイ利用設定 ①する/②しない	161
ルダイヤム	モデムダイヤルイン	1つの電話回線でファクス番号と電話番号の2つを設定することができる	しない	サービス利用設定 ①する/②しない	164

便利に  
使いた  
システム  
アップ

初期設定 (工場出荷時) 一覧表





# より便利に使うために（ユーザーセレクト）

より便利に使うために、親機や子機で、いろいろな登録や設定ができます。

## 親機で設定します

設定項目	登録の操作手順
<b>在宅モード時のコール回数</b> ファクス受信に切り替わるまでの呼出音（コール回数）の回数を設定します。	登録/取消 ▶ GHI 記号 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 1 <sub>ア</sub> ▶ ザ イタクジ* コールスウ ▶
<b>在宅モード/ノンコールモード時の音声応答メッセージ</b> 電話に出なかったときに、固定応答メッセージを流してファクス受信に切り替えます。	登録/取消 ▶ GHI 記号 ABC 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 2 <sub>カ</sub> ▶ オウトウメッセージ ▶
<b>子機受話音量切替</b> 子機の受話音量を全体的に大きめにするができます。（シャトルキーで選んだ受話音量が全体的に大きくなります。）	登録/取消 ▶ GHI 記号 DEF 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 3 <sub>サ</sub> ▶ コキ ジュウ オンリョウ ▶
<b>親機送話音量切替</b> 親機で通話中に、相手の方に聞こえる声の音量を大きめにします。	登録/取消 ▶ GHI 記号 GHI 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 4 <sub>タ</sub> ▶ オヤキ ソウワ オンリョウ ▶
<b>子機送話音量切替</b> 子機で通話中に、相手の方に聞こえる声の音量を大きめにします。	登録/取消 ▶ GHI 記号 JKL 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 5 <sub>ナ</sub> ▶ コキ ソウワ オンリョウ ▶
<b>画質優先選択</b> 送信時に画質ボタンを押さなくても自動的にこの画質が選ばれます。	登録/取消 ▶ GHI 記号 MNO 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 6 <sub>ハ</sub> ▶ ガ シツ コウセン ▶
<b>ノンコール着信</b> 呼出音を鳴らさずにファクスを受けます。 ※108～109ページをよく読んでからお使いください。	登録/取消 ▶ GHI 記号 PQRS 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 7 <sub>マ</sub> ▶ ノンコール チャクシン ▶
<b>ノンコールモード時のコール回数</b> ノンコール着信を設定したときの電話の呼出回数（コール回数）を設定します。	登録/取消 ▶ GHI 記号 TUV 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 8 <sub>ヤ</sub> ▶ ノンコールジ* コールスウ ▶
<b>リモート受信番号</b> 増設電話機の操作でファクスを受けるときの番号を設定します。	登録/取消 ▶ GHI 記号 WXYZ 4 <sub>タ</sub> 0 <sub>ワ</sub> 9 <sub>ラ</sub> ▶ リモート パンゴウ ▶
<b>親機の呼出音切替</b>	▶ 30ページを参照してください。
<b>オリジナル（自作）メロディー</b>	▶ 96ページを参照してください。
<b>通信／コピー終了音選択</b> 終了音の種類を選びます。	登録/取消 ▶ GHI 記号 ABC 4 <sub>タ</sub> 1 <sub>ア</sub> 2 <sub>カ</sub> ▶ シュウリョウオン ▶
<b>音声ガイダンス</b> ファクスの送受信の操作を音声でお知らせします。	登録/取消 ▶ GHI 記号 DEF 4 <sub>タ</sub> 1 <sub>ア</sub> 3 <sub>サ</sub> ▶ オンセイ ガイダンス ▶

便利な  
使いかた  
システム  
アップ

応用編

より便利に使うために（ユーザーセレクト）

- 途中でやめるときは  
停止ボタンを押します。
- 1つ前に戻るときは  
取消ボタンを押します。

### こんなことができます

この取扱説明書では、 などのように、番号を入力して登録や設定する項目を選んでいますが、ジョグダイヤルで項目を選んでスタートボタンで決定することもできます。  
ジョグダイヤルで選ぶ→スタートボタンを押すをくり返します。この操作で登録や設定する項目を選ぶときは、ディスプレイ表示にしたがってください。

## より便利に使うために（ユーザーセレクト）

工場出荷時は  に設定されています。

		はたらき
<p>① 1：回数選択 (初期設定10回)</p> <p>回数を入れる(2ケタで入力) (01~25回)</p> <p>0 1 2 5</p> <p>スタート</p> <p>停止</p>	<p>② 2：無制限呼出</p> <p>-----&gt;</p> <p>停止</p>	<p>回数選択：呼出音が鳴る回数(01~25)を設定します。 設定回数の呼出音が鳴り終わったあと、本機がメッセージを流します。</p> <p>無制限呼出：相手の方が電話を切るまで呼出音が鳴り続けます。</p>
<p>① 1：あり</p> <p>② 2：なし</p> <p>停止</p>		<p>あり：留守設定をしていなくても、呼出音が終わったあとに 応答メッセージを流します。(82ページ)</p> <p>なし：呼出音が鳴り終わると、ファクス受信に切り替わります。 (在宅モード時の留守録(126~127ページ)が「なし」のとき)</p>
<p>① 1：標準</p> <p>② 2：大</p> <p>停止</p>		<p>標準：標準的な子機の話音量になります。</p> <p>大：子機の話音量が大きくなります。</p>
<p>① 1：標準</p> <p>② 2：大</p> <p>停止</p>		<p>標準：標準的な親機の話音量になります。</p> <p>大：親機の話音量が大きめになります。</p>
<p>① 1：標準</p> <p>② 2：大</p> <p>停止</p>		<p>標準：標準的な子機の話音量になります。</p> <p>大：子機の話音量が大きめになります。</p>
<p>① 1：小さな字</p> <p>② 2：普通字</p> <p>停止</p>		<p>小さな字：画質ボタンを押さなくても、「小さな字」 を自動的に選びます。</p> <p>普通字：「普通字」を自動的に選びます。</p>
<p>① 1：あり</p> <p>② 2：なし</p> <p>停止</p>		<p>あり：自動送信でファクスが送られてきたときは呼出 音を鳴らさずに受信します。</p> <p>なし：ノンコール着信は働きません。</p>
<p>回数を入れる(2ケタで入力)(04~25回) (初期設定7回)</p> <p>0 4 2 5</p> <p>スタート</p> <p>停止</p>		<p>ノンコール着信にしたとき、相手の方が電話のときは、 設定した回数の呼出音が鳴ります。(109ページ)</p> <p>※コール回数を多くすると応答メッセージが流れるま での呼出回数が多くなります。</p>
<p>受信番号を入れる(0~2)(4~8) (1ケタで入力) (例) 5</p> <p>停止</p>		<p>増設電話機で、ファクスを受信するときの番号(0~ 2、4~8)を選びます。(3、9は除く)</p>
<p>① 1：鳥の声</p> <p>② 2：音声</p> <p>③ 3：アラーム音</p> <p>④ 4：なし</p> <p>ノンコール着信のときは 終了音を鳴らしません。 また、通信エラーがあっ たときは、「鳥の声」や 「アラーム音」に設定し ていても音声でお知らせ します。</p> <p>停止</p>		<p>鳥の声：コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了 音を「鳥の声」でお知らせします。</p> <p>音声：「音声」でお知らせします。(ただし、コピー 時の終了音は鳥の声になります。)</p> <p>アラーム音：「ピー音」でお知らせします。</p> <p>なし：終了音を鳴らしません。</p>
<p>① 1：あり</p> <p>② 2：なし</p> <p>停止</p>		<p>あり：ファクスの送受信などの操作等を音声でお知ら せします。</p> <p>なし：操作等の音声を流しません。</p>

### ■ ファクス専用にするときは

次の4つの設定でファクス専用でお使いになれます。

- ① ノンコール着信を「なし」にします。
- ② 在宅モード時のコール回数を01回にします。
- ③ 在宅モード時の音声応答メッセージを「なし」に  
します。

- ④ 在宅モード時の留守録を「なし」にします。(126  
~127ページ)

この設定をすると、電話がかかってきたとき、すぐに  
ファクス受信になりますので、相手の方とお話しでき  
なくなります。



# より便利に使うために（ユーザーセレクト）

## 親機で設定します

設定項目	登録の操作手順
<b>おまかせ受信（親機／子機）</b> 相手の方から自動送信でファクスが送られてきたとき、受話器（子機）を取ると自動的にファクス受信に切り替えます。 （増設電話機ではこの機能は働きません。）	登録/取消 ▶ <span>オマカセ ジュシ</span> ▶
<b>ディスプレイ操作表示切替時間</b> 操作しているときにディスプレイ表示が切り替わる時間を設定します。	登録/取消 ▶ <span>ヒョウジ キリカエ</span> ▶
<b>TEL再ダイヤル</b> 受話器を置いたまま再ダイヤルボタン→スタートボタンを押したときに、相手の方が話し中のときは、自動的に再ダイヤルします。	登録/取消 ▶ <span>TEL サイダ イヤル</span> ▶
<b>スタンプ設定</b>	▶ 105～106ページを参照してください。
<b>Fネット信号検出（1300Hz信号検出）</b> Fネットからの信号を検出してファクスに切り替えます。（180ページ）	登録/取消 ▶ <span>Fネット ケンシュツ</span> ▶
<b>メモリー受信</b> いったんメモリーで受信してからプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。	登録/取消 ▶ <span>メモリージ ユシ</span> ▶
<b>受信プリント</b> 記録紙やインクリボンをセットしているときはメモリー受信した内容を、自動的にプリントすることができます。	登録/取消 ▶ <span>ジュシ プリント</span> ▶
<b>受信縮小率</b> ファクスを受信したときに、縦方向に縮小してプリントします。	登録/取消 ▶ <span>ジュシ ショウリツ</span> ▶
<b>メモリー受信条件</b> 設定した以上のメモリーがないとメモリー受信しません。	登録/取消 ▶ <span>ジュシ ショウケン</span> ▶
<b>分割コピー</b> A4よりも長い原稿をコピーしても、A4サイズ以上の部分はプリントしません。 （ハンドコピーのプリントも含まれます。）	登録/取消 ▶ <span>ブンソツコピ</span> ▶
<b>ハンドコピー詰め込みプリント</b> A4よりも短い原稿をコピーすると2枚目以後の原稿を詰め込んでプリントします。 （ハンドコピーのみです。）	登録/取消 ▶ <span>ツメコミ プリント</span> ▶
<b>電話帳以外クリア</b> 親機の電話帳に登録した内容以外を一度に全て消します。また、ユーザーセレクトや、留守録モードの設定を工場出荷時の状態にします。	登録/取消 ▶ <span>テンワチョウイカ イクリア</span> ▶

応用編  
便利なシステムアップ  
使いかた

より便利に使うために（ユーザーセレクト）

■ 途中でやめるときは  
停止ボタンを押します。

■ 1つ前に戻るときは  
取消ボタンを押します。

### お知らせ

- スーパーACRを使用している場合、電話帳以外クリアを「する」に設定すると、スーパーACRの設定が変更されて、ACRの表示ランプが緑色から赤色に変わります。（ACRのデータは消えません）スーパーACRを使用するためにACRモードのACR機能を「スル」に設定しなおしてください。（134ページ）

## より便利に使うために (ユーザーセレクト)

		はたらき
1:あり 2:なし		あり: 親機や子機で電話に出たとき、「ポー・ポー・ポー…」音 (ファクスの自動送信音) が、聞こえると自動的にファクス受信します。 なし: 「ポー・ポー・ポー…」音が聞こえても自動的にファクス受信に切り替わりません。
1: 2秒 2: 3秒 3: 5秒		2秒: 操作している時など、表示が2秒間隔で切り替わります。 3秒: 表示が3秒間隔で切り替わります。 5秒: 表示が5秒間隔で切り替わります。
1:あり 2:なし		あり: 相手の方が話し中のとき、約1分おきに、最大10回まで自動的に再ダイヤルします。 なし: 自動で再ダイヤルしません。
1:あり 2:なし		あり: Fネットから、送信があると信号を検出してファクスに切り替わります。 なし: Fネットから、送信があってもファクスに切り替わりません。
1:する 2:しない 3:自動		する: いったんメモリーで受信してからプリントします。また、記録紙やインクリボンがなくなったときは、メモリーに記録しています。 しない: 記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。 自動: メモリー受信中にメモリーがいっぱいになって受信エラーになったときは、次に受信するときに、メモリー受信しない方法でファクスを受信します。正常にファクスを受信したあとはメモリー受信する方法に戻ります。
1:自動 2:手動		自動: 記録紙とインクリボンがセットされているとメモリー受信した内容を自動的にプリントします。 手動: メモリー受信した内容をプリントするときは記録紙やインクリボンを設定したあと、必ずスタートボタンを押します。
1:縮小 2:等倍		縮小: ファクスを受信すると、自動的に縦方向に約93%縮小してプリントします。 等倍: ファクスを受信しても縮小しません。(相手側の発信元、記録などを印字するため、2枚に分かれてプリントされることがあります。)
1: 4% 2: 10% 3: 30% 4: 50%		4%: 4%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 10%: 10%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 30%: 30%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 50%: 50%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。
1:する 2:しない		する: A4サイズよりも長い原稿をコピーしたときは複数枚に分けてプリントします。 しない: A4サイズを超える部分はプリントしません。
1:する 2:しない		する: A4サイズより短い原稿をコピーすると、2枚目以後の原稿を詰め込んでプリントします。 しない: A4サイズより短い原稿でも、記録紙1枚にプリントします。
1:しない 2:する		しない: 設定したままにします。 する: ユーザーセレクト、留守録モードを工場出荷時に戻します。メモリー受信データや留守録内容も消去されます。(電話帳に登録した内容や日付・時刻・スーパーACRのデータは消えません。インターネットのダウンロードデータも消えません。)

便利  
使いた  
かた  
システム  
編

より便利に使うために (ユーザーセレクト)

子機で設定します

設定項目	登録の操作手順
<p><b>クイック通話（着信のときのみ）</b> 子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。</p>	<p>通話ボタンを消灯した状態で</p> <p>機能/ファクス</p> <p>ダイヤル</p> <p>クイックツウ</p> <p>機能/ファクス</p> <p>を選ぶ</p>
<p><b>待受時間</b> 充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。</p>	<p>通話ボタンを消灯した状態で</p> <p>機能/ファクス</p> <p>ダイヤル</p> <p>マチウケジ カン</p> <p>機能/ファクス</p> <p>を選ぶ</p>
<p><b>キータッチトーン</b> ボタンを押したときや、シャトルキーを操作したときに、「ピッ」音を鳴らします。</p>	<p>通話ボタンを消灯した状態で</p> <p>機能/ファクス</p> <p>ダイヤル</p> <p>キータッチトーン</p> <p>機能/ファクス</p> <p>を選ぶ</p>

**キータッチトーンとは**

子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音（確認音）です。

■ 途中でやめるときは

ボタンを押します。

## より便利に使うために（ユーザーセレクト）

		はたらき
▶	 ON (設定) OFF (解除)	機能/ファクス  ON : 着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 OFF : 子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
▶	 標準 長時間	機能/ファクス  標準 : 待受時間は約200時間になります。 長時間 : 待受時間は約300時間になります。 （「長時間」にすると「標準」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待受時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待受時間は短くなります。
▶	 ON (設定) OFF (解除)	機能/ファクス  ON : ボタンを押したときやシャトルキーを操作したときに「ピッ」音が鳴ります。 OFF : 「ピッ」音は鳴りません。





# 留守録の使い方を選ぶ (留守録モード)

留守モードでの用件録音時間や呼出回数などを選ぶことができます。暗証番号、転送先番号、転送内容、転送設定の項目は各ページをご覧ください。

## 親機で設定します

設定項目	登録の操作手順
<b>用件録音時間</b> 用件メッセージが録音できる時間を設定します。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 記号 0 <sub>ワ</sub> 1 <sub>ア</sub> ヨケンロクオン ジカシ ▶
<b>暗証番号</b>	▶ 114ページを参照してください。
<b>転送先番号</b>	▶ 117ページを参照してください。
<b>転送内容 (ポケットベルに送るメッセージ)</b>	▶ 118ページを参照してください。
<b>転送設定</b>	▶ 117ページを参照してください。
<b>再転送条件</b> 転送 (着信お知らせ) を設定したときに、転送で呼び出しがあっても、電話に出なかったときに再度、呼び出します。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 記号 0 <sub>ワ</sub> MNO 6 <sub>ハ</sub> サイトソウ ▶
<b>在宅モード時の留守録</b> 留守に設定しなくても、設定した回数の呼出音が鳴ったあとメッセージを録音できます。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 記号 0 <sub>ワ</sub> PQRS 7 <sub>マ</sub> ザイタクジノルスロク ▶
<b>留守モード時のコール回数</b> 用件メッセージ録音を開始するまでの、呼出音の回数を設定します。また、トールサーバー (113ページ) に設定することもできます。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 記号 0 <sub>ワ</sub> TUV 8 <sub>ヤ</sub> ルスモード コールカイスウ ▶
<b>応答メッセージ/発信音待ち時間</b> 応答メッセージが流れ終わってから、録音開始音「ピーッ」音が流れるまでの時間を設定します。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 記号 0 <sub>ワ</sub> WXYZ 9 <sub>ラ</sub> ハッシンオン マチジカシ ▶
<b>無音検出時間</b> 録音中に相手の方が話さなかったとき (無音が続いたとき) にファクス受信に切り替わります。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 1 <sub>ア</sub> 記号 0 <sub>ワ</sub> ムオンケンシュツ ジカシ ▶
<b>お声拝聴</b> 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声スピーカーから聞こえます。	▶ DEF 3 <sub>サ</sub> 1 <sub>ア</sub> 1 <sub>ア</sub> オコエ ハイチョウ ▶

便利に  
使いた  
システム  
アップ

留守録の使い方を選ぶ (留守録モード)

- 途中でやめるときは  
停止ボタンを押します。
- 1つ前に戻るときは  
取消ボタンを押します。

**こんなことができます**

この取扱説明書では、DEF 3<sub>サ</sub> 記号 0<sub>ワ</sub> 1<sub>ア</sub> などのように、番号を入力して登録や設定する項目を選んでいますが、ジョグダイヤルで項目を選んでスタートボタンで決定することもできます。ジョグダイヤルで選ぶ→スタートボタンを押すをくり返します。この操作で登録や設定する項目を選ぶときは、ディスプレイ表示にしたがってください。

# 留守録の使い方を選ぶ (留守録モード)

工場出荷時は に設定されています。

		はたらき
<p>1 : 20秒</p> <p>2 : 1分</p> <p>3 : 3分</p>	<p>停止</p>	<p>20秒 : 最大20秒録音できます。</p> <p>1分 : 最大1分録音できます。</p> <p>3分 : 最大3分録音できます。</p>
<p>1 : 時間間隔</p> <p>2 : 再転送回数</p>	<p>1 : 3分</p> <p>2 : 15分</p> <p>3 : 30分</p> <p>1 : 3回</p> <p>2 : 5回</p> <p>3 : 10回</p>	<p>時間間隔 3分 : 3分おきに再転送します。</p> <p>15分 : 15分おきに再転送します。</p> <p>30分 : 30分おきに再転送します。</p> <p>再転送回数 3回 : 最大3回まで再転送します。</p> <p>5回 : 最大5回まで再転送します。</p> <p>10回 : 最大10回まで再転送します。</p> <p>PHSや携帯電話に転送するときは間隔と回数を長くすると便利です。</p>
<p>1 : あり</p> <p>2 : なし</p>	<p>停止</p>	<p>あり : 呼出音が鳴り終わったら、録音とファクス受信ができます。</p> <p>なし : 呼出音が鳴り終わったら、ファクス受信に切り替わります。メッセージは録音しません。</p>
<p>1 : トールセーバー</p> <p>2 : 回数選択 (4回)</p>	<p>停止</p> <p>回数を入れる (2ケタで入力) (01~25回)</p> <p>0, 1, 2, 5, スタート, 停止</p>	<p>トールセーバー : 留守設定時、用件が録音されると、呼出音が2回鳴ります。用件録音がない場合は、5回鳴ります。</p> <p>回数選択 : 呼出音の回数 (01~25) を設定します。設定回数の呼出音が鳴ったあと、本機がメッセージを流します。</p>
<p>1 : 1秒</p> <p>2 : 2秒</p> <p>3 : 4秒</p>	<p>停止</p>	<p>1秒 : 1秒後に、録音開始音「ピーツ」が流れます。</p> <p>2秒 : 2秒後に、録音開始音「ピーツ」が流れます。</p> <p>4秒 : 4秒後に、録音開始音「ピーツ」が流れます。</p>
<p>1 : 3秒</p> <p>2 : 6秒</p> <p>3 : 10秒</p> <p>4 : 検出なし</p>	<p>停止</p>	<p>3秒 : 用件録音中、3秒以上無音が続いたら、ファクス受信になります。</p> <p>6秒 : 6秒で切り替わります。</p> <p>10秒 : 10秒で切り替わります。</p> <p>検出なし : 無音が続いても切り替わりません。</p>
<p>1 : あり</p> <p>2 : なし</p>	<p>停止</p>	<p>あり : 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声スピーカーから聞こえます。</p> <p>なし : 留守録設定中でも応答メッセージと相手の方の録音中の声は聞こえません。</p>

便利  
使用  
編  
システム  
アップ

留守録の使い方を選ぶ (留守録モード)



# 登録内容やメモリー、インクリボンの使用量を確認する (設定確認モード)

登録内容をプリントして、確認できます。また、メモリーやインクリボンの使用量をディスプレイで確認できます。

設定項目	手順	プリント (確認) できる内容
電話番号リスト	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> 1 <sub>ア</sub>	電話帳の登録内容をプリントします。
登録設定リスト	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> ABC 2 <sub>カ</sub>	発信元名・発信元番号・発信元記録・ユーザーセレクト・留守録モード・ダイヤルイン番号等の登録内容をプリントします。
録音リスト	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> DEF 3 <sub>サ</sub>	録音を開始した時刻や録音時間などをプリントします。
特定番号リスト	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> GHI 4 <sub>タ</sub>	特定番号の登録内容をプリントします。
メモリー使用量表示	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> JKL 5 <sub>ナ</sub> (例) 停止	メモリーの使用量を約3秒間表示します。
インクリボン使用量表示	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> MNO 6 <sub>ハ</sub> 1 <sub>ア</sub> (例) 停止	インクリボンを使用した長さ (めやす) を約3秒間表示します。
インクリボン使用量クリア	登録/取消 → JKL 5 <sub>ナ</sub> MNO 6 <sub>ハ</sub> ABC 2 <sub>カ</sub> 停止	インクリボンの使用量をクリア (0m) にします。新しいインクリボンをセットしたときはこの操作をします。
登録メニュー	登録/取消 → コピー	登録、設定できる内容をプリントします。

便利な  
使いかた  
システム  
アップ

応用編

登録内容やメモリー、インクリボンの使用量を確認する (設定確認モード)

## 内蔵のリチウム電池について

- 電話帳・発信元名・電話番号・日付/時刻などの登録や設定した内容は、本体に内蔵のリチウム電池で保持されています。
- このリチウム電池は、本体の電源コードが差し込まれていないときに消耗します。(何も登録していなくても消耗します。また、電源コードが差し込まれているときはほとんど消耗しません。) 電池が消耗すると、登録・設定した内容が消えてしまいますので、必ず内容の控えを保管しておくようにお願いします。
- リチウム電池の寿命は、連続的に電源コードを抜いた状態で、約5年間です。
- リチウム電池の交換は、お買いあげの販売店や修理ご相談窓口へご依頼ください。(有料)

## お知らせ

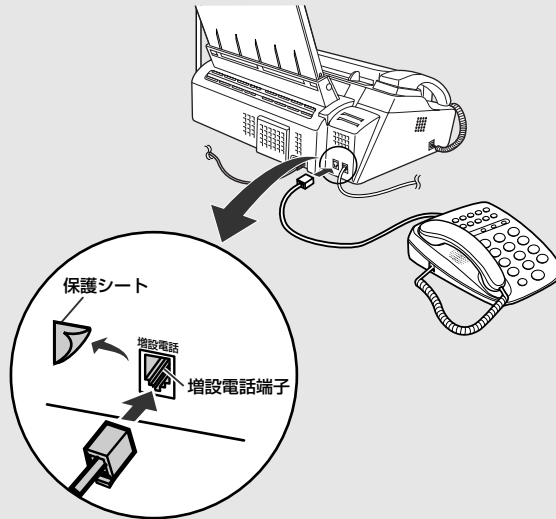
- 子機で登録した内容をプリントすることはできません。

# 増設電話機を使う

お手持ちの電話機を増設電話機として接続することができます。

また、停電したときでも、増設電話機を接続すると電話をかけたり、受けたりすることができます。

## 増設電話を接続する



### 1 増設電話端子に接続する

- 保護シートをはがし、電話機の接続コードを、本体の増設電話端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

## 増設電話機で電話をかける

### 1 受話器を取る

### 2 「ツー」という音が聞こえたらダイヤルする

- 通話が終わったら受話器を戻します。

## 増設電話機で電話を受ける

### 1 呼出音が鳴ったら受話器を取って通話する

- 通話が終わったら受話器を戻します。

### お知らせ

- ファクシミリ本体と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 増設端子には、電話機を1台しか接続できません。（コードレス電話機は接続できません。）
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなることがあります。
- 増設電話端子に、ACR機能付電話機を接続するときは、電話機側でACR機能が働かないように設定してください。それぞれの電話機でACRデータの受信ができなくなり、ACR機能が正しく働かなくなります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続するときは、電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。
- ファクシミリ本体でノンコール着信を設定しているときは、増設電話機の呼出音は鳴りません。（通話もできません。）
- 増設電話機では、ACR機能はご利用できません。スーパーACRをご利用の方は、ファクシミリの親機または子機をお使いください。

■ **受話器を上げたとき「ポー・ポー・ポー…」音が聞こえたら**  
 相手の方がファクスを送っています。手順2～4の操作をおこなってください。

## 増設電話機でファクスを受ける

増設電話機でファクスを受けることができるのは、かかってきた場合のみです。

**1** 呼出音が鳴ったら  
**受話器を取る**

**2** ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて  
**トーン信号に切り替える**

**3** **5** **\*** と押す

**4** 受話器を戻す

- トーン信号の切り替え方法は、増設電話機の取扱説明書をご覧ください。
- プッシュ回線の場合トーン信号に切り替える必要はありません。
- 5以外の番号にすることもできます。(120～121ページ)

## 増設電話機で受けて親機へ転送する(ひとり転送)

増設電話機

**1** 通話中に  
**トーン信号に切り替える**

**2** 増設電話機で通話中に  
**3** **\*** と押す

**3** 受話器を戻す

親機

**4** 呼出音が鳴ったら  
**受話器を取る**  
 親機で通話できます。

- トーン信号の切り替え方法は増設電話機の取扱説明書をご覧ください。
- プッシュ回線の場合トーン信号に切り替える必要はありません。
- 親機の呼出音が鳴ります。

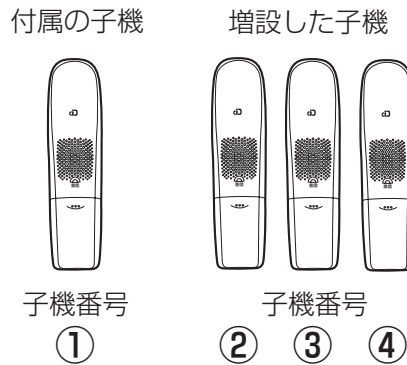
■ **3** **\*** と押すと  
 相手の方には保留メロディーが流れます。受話器を戻しても、電話は切れません。

## お知らせ

- 電話回線がダイヤル回線の場合、トーン信号の発信機能がないと、ファクスの受信はできません。
- 回線の状態によって、受信できないことがあります。

# 子機を増設して使う（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります



- 子機は、付属の子機以外に3台まで、増設することができます。
- 子機間での通話はできません。
- 増設できる子機はUX-KF2MRです。他の子機は増設できませんのでご注意ください。

## 親機から増設子機を呼び出して話す（内線電話）

付属の子機の操作と同じです。ただし、子機番号を押すときに、増設子機の子機番号を押します。（54ページ）

## かかってきた電話を転送する（とりつぎ転送）

付属の子機の操作と同じです。（57ページ）

## かかってきた電話を自分で転送する（ひとり転送）

付属の子機の操作と同じです。（58～59ページ）